

【8】新庄まちづくりファンド

ファンドの概要

ファンド設立日	2019年3月22日
組合員構成	新庄信用金庫、民間都市開発推進機構
ファンドの所在地	山形県新庄市
ファンドの資金規模	50百万円（新庄信用金庫25百万円、機構25百万円）
ファンドの形態	有限責任事業組合（LLP）
ファンドの存続期間	2039年1月末日まで

地域の課題

山形県の新庄・最上地域は、日本有数の豪雪地帯で豊かな自然に恵まれた地域です。

その中心市として新庄市には生活機能・都市機能の充実が望まれています。この地域は、企業数が少ないことから仕事を求めて地域を出ていく人、高校卒業後に地域外の大学等へ進学して戻って来ない若者が多く、山形県内でも人口流出が著しい地域となっており、将来的に大幅な人口減少が予測されています。

地域の最大の課題である人口流出を少しでも抑制するために、地域の魅力を情報発信・体験・再発見できるような機能や若者がこの地域に暮らしたいと思えるようなまちづくりが求められています。

投資対象エリア

本ファンドは、上記の課題を踏まえ、新庄市の既成市街地及びその周辺において実施される民間まちづくり事業に投資します。

投資対象事業の考え方

上記の対象エリアにおいて、空き家、空き店舗、古民家等のリノベーション等により、飲食施設、宿泊施設、交流施設、イベント施設、体験施設、貸しオフィスなどの施設を整備・運営することで地域の課題解決に資する事業を投資の対象とします。

投資対象エリア（イメージ）



出典：地理院タイル（標準地図）に投資対象エリア・ランドマークを追記して掲載

投資事例1



施設名：ビーチ
所在地：山形県新庄市本町
投資先：合同会社 みやび商事
投資日：2020年9月10日
形態：社債の引受

＊商店街に位置する築40年超の3階建ての建物をリノベーションし、飲食店及び貸事務所等として運営